

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。



効率的・効果的な基盤整備と 県土マネジメントの推進

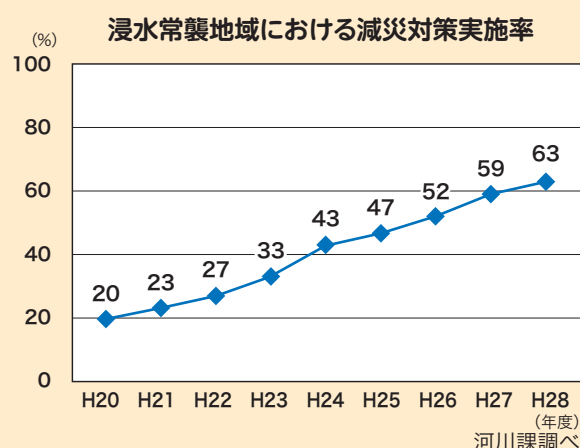
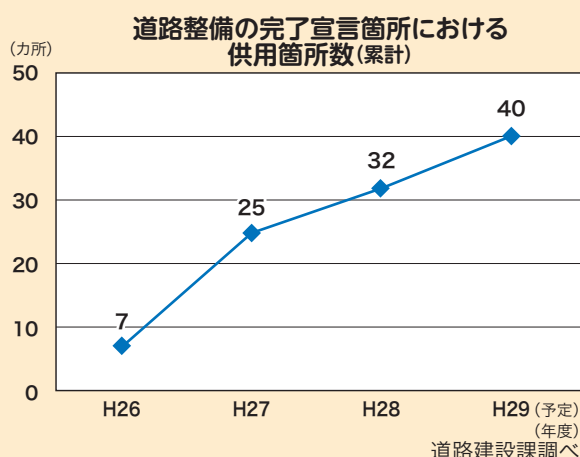
主担当部局：県土マネジメント部



京奈和自動車道(御所南インターチェンジ～五條北インターチェンジ)開通

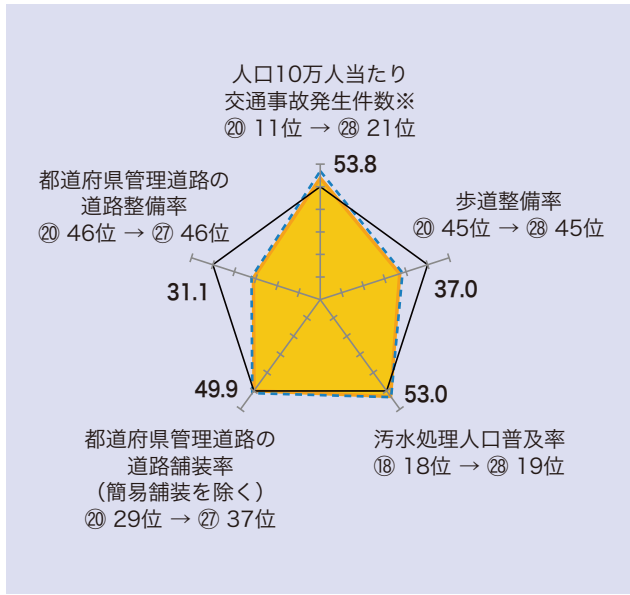
目指す姿

平成31(2019)年度までに、**道路整備の完了宣言箇所における供用箇所数を累計48カ所にし、浸水常襲地域における被害軽減のための減災対策を概ね7割の地域で完了**させるなど、経済の活性化やくらしの向上に資する基盤整備の取組を進めます。

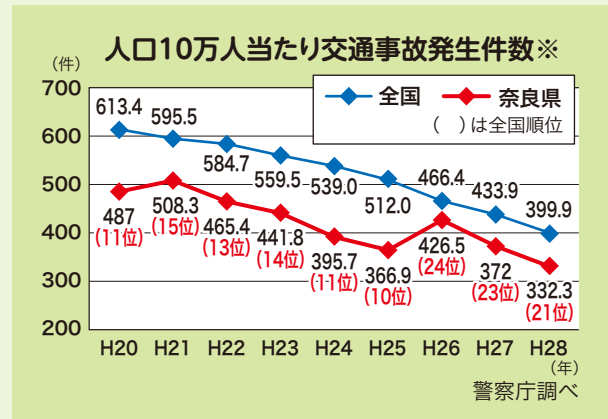


目指す姿を達成するための取組状況

● 現状

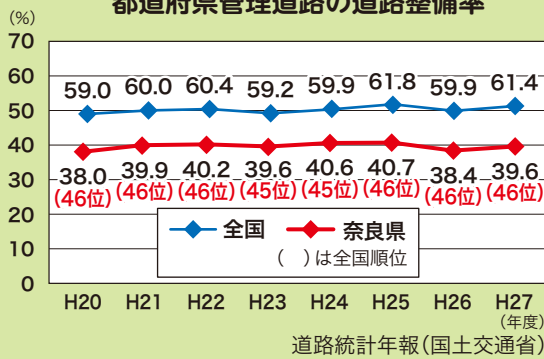


● トレンド



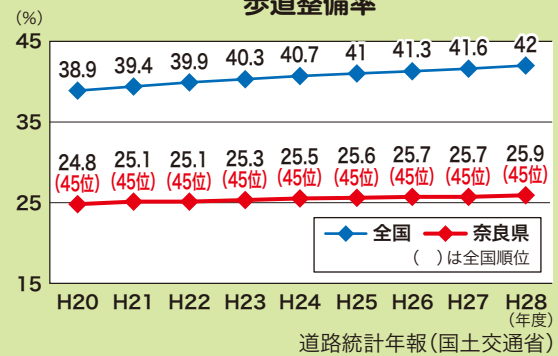
人口10万人当たり交通事故発生件数は概ね減少傾向にあり、全国と比べても少なくなっています。

都道府県管理道路の道路整備率



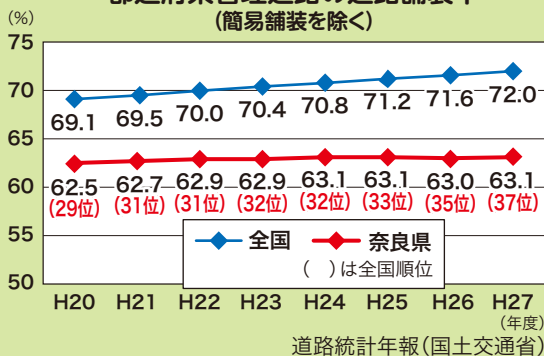
平成27年度の県管理道路の道路整備率は約40%で、全国平均の約61%と比べて大幅な遅れとなっています。

歩道整備率



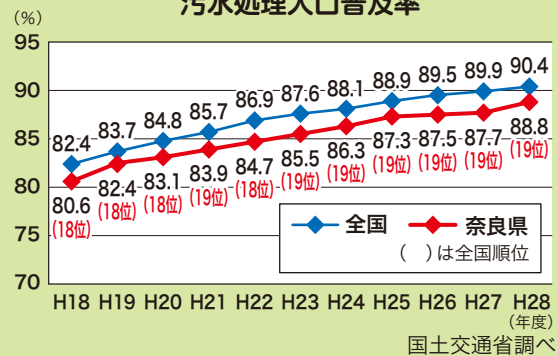
歩道整備を推進したため、整備率は上がっていますが、全国と比べると、依然低い水準となっています。

都道府県管理道路の道路舗装率 (簡易舗装を除く)



平成27年度の県管理道路の道路舗装率は平成20年度から約0.6ポイント上昇していますが、全国と比べると低い状態が続いています。

汚水処理人口普及率



下水道整備及び合併処理浄化槽設置促進により、汚水処理人口普及率は着実に増加しています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

企業立地の支援、観光の振興等、地域経済の発展に寄与する基盤整備を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標

骨格幹線道路ネットワーク
(路線の線の整備箇所)の整備率

22%
平成26(2014)年度

目標

52%
平成32(2020)年度

都市計画区域内人口1人当たり
都市公園面積

12.7㎡/人
平成26(2014)年度

目標

13.6㎡/人
平成32(2020)年度

目標

リニア中央新幹線
三重・奈良・大阪ルート
の早期実現

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
骨格幹線道路ネットワークや企業立地・観光振興に資する道路の整備	整備の推進		
都市公園等の整備	整備の推進		
リニア中央新幹線の建設促進	要望活動、調査検討		
交通環境の充実	ぐるっとバスの運行、パークアンドバスライドの実施 ● (仮称)登大路バスターミナルの開業		
大宮通りを軸とした観光拠点施設の整備	整備の推進 ● 大宮通り新ホテル・交流拠点、吉城園周辺地区及び高畑町裁判所跡地のまぢびらき		



京奈和自動車道 御所南インターチェンジ・御所南パーキングエリア付近



(仮称)登大路バスターミナル 完成イメージ(奈良市)

戦略 2

日常生活の利便性・快適性向上を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 道路環境課

戦略目標

「みんなで・守ロード」の参加団体数

98団体
平成26(2014)年度



目標
108団体
平成31(2019)年度

公共交通利用者数の増減率

目標
県内人口・来訪者数の
増減率以上の確保

汚水処理人口普及率

87.5%
平成26(2014)年度



目標
92.0%
平成31(2019)年度

主な取組

項 目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
効率的・効果的な維持管理体制の確立	県民との協働による道路・河川の維持管理の推進		
奈良県公共交通基本計画・ 奈良県地域公共交通網形成計画の実施	公共交通ネットワークの確保、地域における生活交通の確保		
下水道の整備と効率的な運営の推進	整備の推進 ● 地方公営企業法の適用開始		
生活利便の向上に資する道路整備の推進	整備の推進		
安全で安心な歩行空間の確保	歩道整備、無電柱化の推進		



バス交通の確保(奈良交通(株)八木新宮線)



協働による道路維持管理「みんなで・守ロード」(奈良市)



戦略 3

災害への備え等強靱な県土整備を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 河川課

戦略目標

国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率

10%
平成26(2014)年度

目標
→

19%
平成32(2020)年度

土砂災害特別警戒区域の調査箇所数(累計)

86カ所
平成26(2014)年度

目標
→

約10,000カ所
平成31(2019)年度

目標

リニア中央新幹線
三重・奈良・大阪ルート
の早期実現

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
安全・安心を支える道路整備の推進	整備の推進		
土砂災害対策の推進	土砂災害警戒区域等の指定推進		
リニア中央新幹線の建設促進	要望活動、調査検討		
社会資本の長寿命化対策の推進	道路構造物、河川管理施設等の長寿命化対策の推進		
総合的な治水対策の推進	浸水害における減災対策の推進		

●「大和川流域における総合治水の推進に関する条例」施行



総合的な治水対策 水田貯留の推進(田原本町)



社会資本の長寿命化対策 橋りょう点検(野迫川村)



新奈良県総合医療センターへのアクセス道路 石木城線(大和郡山市)



砂防対策工事の推進(天理市)



通学路の安全対策(奈良市)

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。



地域性を活かした、にぎわいの ある、くらしやすいまちづくり

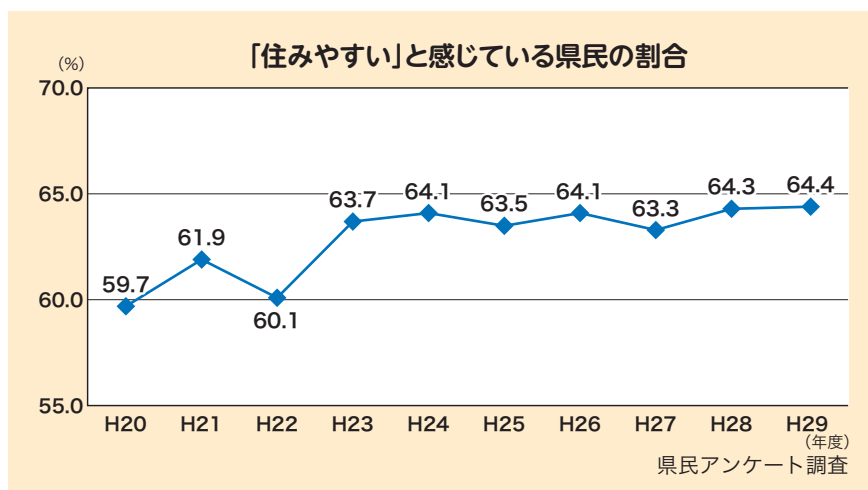
主担当部局：まちづくり推進局



御所マルシェ（御所市）

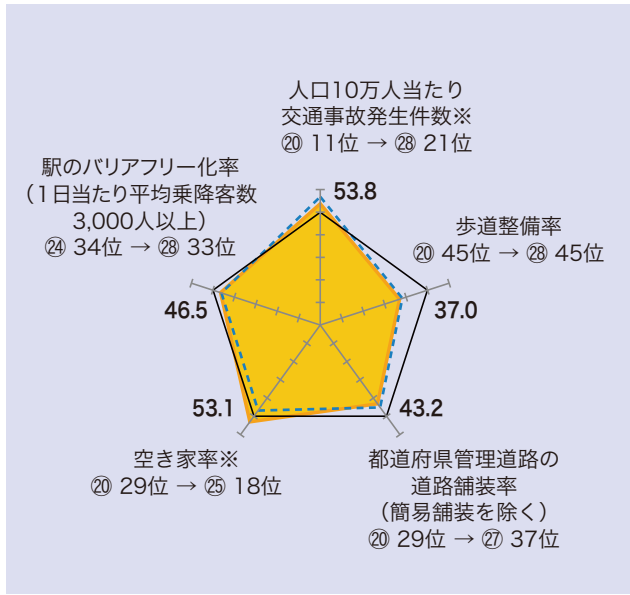
目指す姿

平成39(2027)年度までに、県民アンケートにおいて、**奈良県を「住みやすい」と感じている県民の割合を70%に**します。

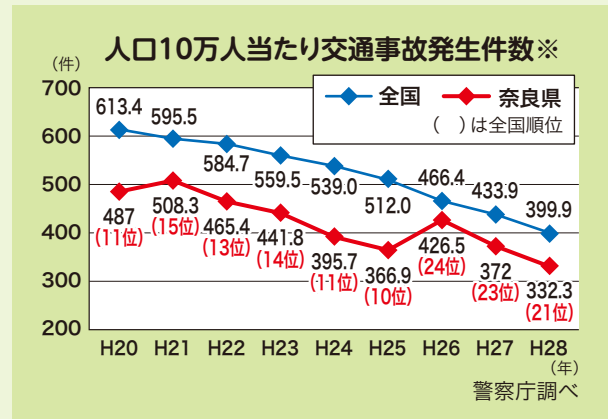


目指す姿を達成するための取組状況

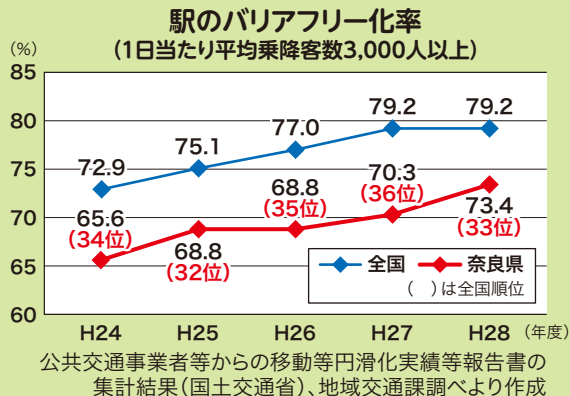
● 現状



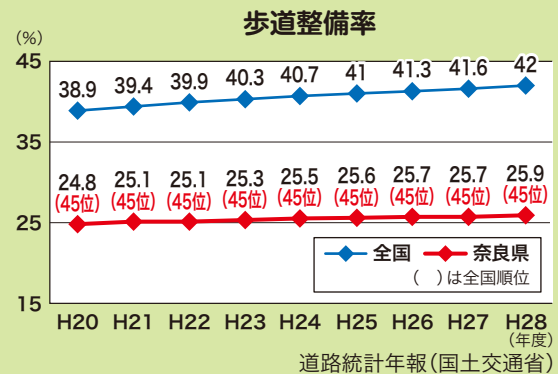
● トレンド



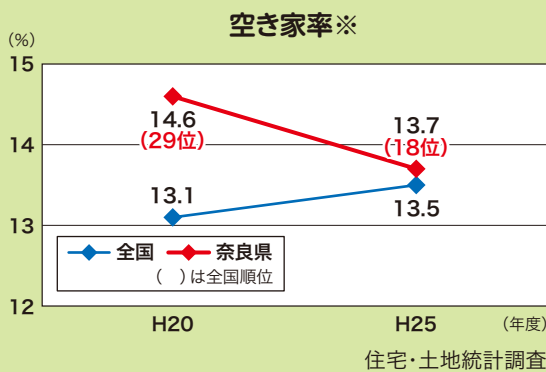
人口10万人当たり交通事故発生件数は概ね減少傾向にあり、全国と比べても少なくなっています。



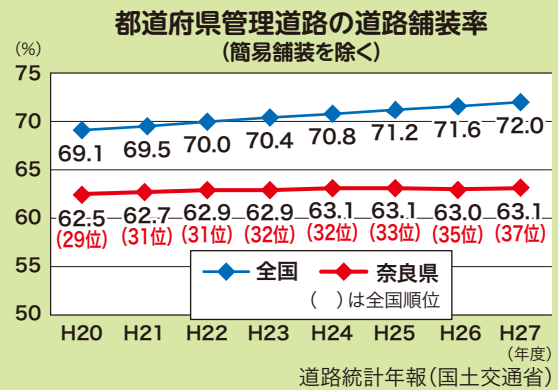
駅のバリアフリー化率は、平成24年度と比較して7.8ポイント上昇しましたが、全国平均と比較すると低い状態が続いています。



歩道整備を推進したため、整備率は上がっていますが、全国と比べると、依然低い水準となっています。



空き家率は、全国と比較すると少し高い状態ですが、平成20年度と比較して0.9ポイント下がっています。



平成27年度の県管理道路の道路舗装率は平成20年度から約0.6ポイント上昇していますが、全国と比べると低い状態が続いています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

地域資源を活かし、**住みよく、住み続けることができるまちづくり**を推進します。

主担当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

戦略目標

空家等対策計画を策定する市町村の割合

0%
平成27(2015)年度

目標

50.0%
平成31(2019)年度

まちづくりのための活動行動者率

13.7%
平成18(2006)年度

目標

増加

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
空家対策の推進	市町村における空家等対策計画策定の支援		
地域資源を活用したまちづくりの推進	「奈良・町家の芸術祭 はならあと」、駅前広場等でのマルシェの開催支援		
	川辺のまちづくりの推進		
地域包括ケアのまちづくりの推進	医大・周辺まちづくりの推進		
	奈良県総合医療センターの跡地を活用したまちづくりの推進		



川辺のまちづくり(佐保川 川の彩り花づつみ事業による花植え)



医大・周辺まちづくりプロジェクト(橿原市)

戦略 2

やすらぎ・憩い・にぎわい・利便性を提供する空間の創出を推進します。

担当当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標

地域の河川サポート事業
「彩り花つつみプログラム」参加団体数

25団体
平成26(2014)年度

目標
→

30団体
平成31(2019)年度

馬見丘陵公園花サポーター
(花緑ボランティア)登録者数

48人/年
平成28(2016)年度

目標
→

100人/年
平成32(2020)年度

京奈和自転車道の整備延長

0km
平成27(2015)年度

目標
→

75kmの概成
平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
地域との協働による花のある空間づくり	河川を花で彩る活動の実施		
馬見丘陵公園のにぎわいづくり	イベント・講習会等の開催、花のパノラマ景観の創出		
広域的な自転車利用ネットワークの整備	京奈和自転車道の整備推進		



馬見フラワーフェスタ(馬見丘陵公園)



京奈和自転車道の整備(大和郡山市)

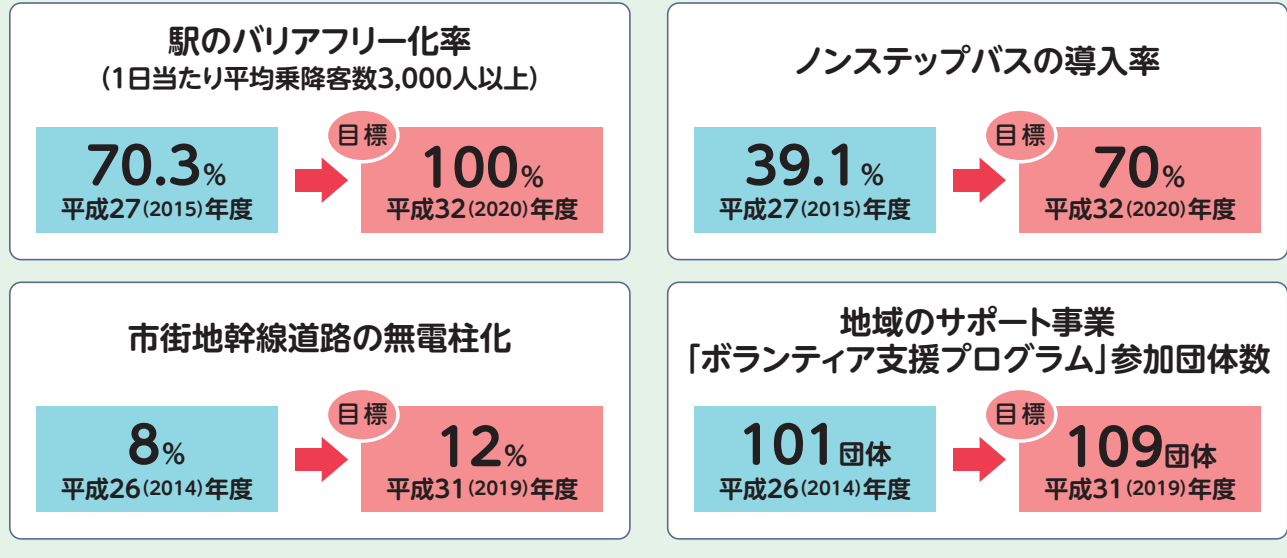


戦略 3

バリアフリー・ユニバーサルデザインや景観に配慮した空間の創出を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
鉄道駅のバリアフリー化推進	駅・周辺主要施設における移動空間の整備		
ノンステップバスの導入推進	バス利用環境の向上		
無電柱化の推進	「景観」「安全性」「防災性」の向上のための無電柱化の推進		
河川美化活動の推進	河川団体の募集、活動の見える化の実施		



【対策前】
無電柱化(橿原市内膳町～八木町一般県道大和八木停車場線)



近鉄下田駅のバリアフリー化



奈良・町屋の芸術祭はならあと(橿原エリア八木札の辻ゾーン)



地域による花植え活動(飛鳥川)



フラワーフェスタ ダリア花じゅうたん(馬見丘陵公園)